

# 平成19年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：イネ・フタオビコヤガ（イネアオムシ）（1）

平成19年6月22日

鳥取県病害虫防除所

## 1 情報の内容

6月15日現在、県内巡回調査定点において、フタオビコヤガ（イネアオムシ）が平年に比べて多く発生している。今後、7月～8月にかけて発生する第2～4世代幼虫による被害が懸念されるので、今後の発生状況に注意が必要である。

## 2 発生状況

- (1) 巡回調査の結果、フタオビコヤガの発生ほ場率は9.9%であった。昨年(15.5%)より発生はやや少ないが、平年(1.6%)より多い発生となっている(表1)。
- (2) 6月15日現在、フタオビコヤガの発生は、育苗箱施用剤を処理していないほ場、鱗翅目害虫に対して効果が高い育苗箱施用剤を使用していないと思われるほ場、周辺より早期に移植したほ場で認められた。
- (3) 6月15日現在、現地ほ場での発生の主体は、中齢幼虫～蛹である。したがって、次世代幼虫は7月上旬～中旬頃より発生し始めると考えられる。
- (4) 農業試験場内の県予察ほ場(害虫無防除田)におけるフタオビコヤガの食害株率は8.5～38.0%であった。昨年(12～68%)より発生は少ないが、平年(1.2～6.8%)より多い(表2)。また、6月20日現在、発生の主体は老齢幼虫である(表2)。

## 3 防除上注意すべき事項

- (1) 6月15日現在、フタオビコヤガの防除が必要なほ場は極く少ない。しかし、老齢幼虫の発生が特に多い場合は、防除指針等を参考にして粉剤あるいは乳剤で早急に防除を行う。
- (2) 気象予報によると、向こう1ヶ月は平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想されていることから、7月～8月に発生する第2～4世代幼虫の発生量は、平年より多いと予想される。したがって、今後の発生状況には十分注意が必要である。
- (3) フタオビコヤガに対して効果の高い育苗箱施用剤(ブイゲットアドマイヤースピノ箱粒剤、フルサポート箱粒剤等)を使用していないほ場では、7月中旬頃よりフタオビコヤガの幼虫が増加し始めると予想される。
- (4) 7月中旬から出穂10～14日前頃までに防除基準(暫定版：下記の～の条件をすべて満たす場合、発生の主体が1.2cm以上の幼虫、被害株率90%以上、食害葉面積率10～20%以上)に達した場合はただちに防除を行う。

表1 フタオビコヤガの発生状況

調査地区	調査地点	H19	H18
		発生ほ場率(%)	発生ほ場率(%)
東部	鳥取市嶋	15.0	20.0
	鳥取市(旧国府町)玉鉾	0	66.7
	鳥取市(旧福部村)栗谷	20.0	0
	鳥取市(旧気高町)重高	15.0	8.3
	鳥取市(旧青谷町)奥崎	0	0
	岩美町蒲生	10.0	33.3
	鳥取市(旧河原町)福和田	0	0
	鳥取市(旧用瀬町)鷹狩	10.0	25.0
	八頭町(旧郡家町)池田	0	16.7
	八頭町(旧八東町)徳丸	15.0	27.8
	智頭町三田	10.0	0
	若桜町須澄	0	0
	鳥取市賀露	0	-
	鳥取市朝月	4.8	-
	鳥取市河内	5.0	-
	鳥取市(旧気高町)下原	15.0	-
	鳥取市(旧鹿野町)小別所	30.0	-
	岩美町浦富	10.0	-
	八頭町(旧船岡町)橋本	0	-
	鳥取市(旧佐治町)古市	0	-
東部平均		8.0	14.2
中部	倉吉市小鴨	15.0	25.0
	倉吉市(旧関金町)今西	20.0	0
	湯梨浜町(旧羽合町)長瀬	0	0
	北栄町(旧大栄町)瀬戸	0	0
	琴浦町(旧東伯町)美好	20.0	0
	琴浦町(旧赤碕町)出上	25.0	11.1
	倉吉市下米積	5.0	-
	倉吉市服部	5.0	-
	湯梨浜町(旧東郷町)北福	0	-
	三朝町牧	20.0	-
北栄町(旧北条町)米里	10.0	-	
中部平均		10.9	5.0
西部	米子市東八幡	15.0	8.3
	米子市(旧淀江町)福岡	10.0	21.1
	南部町(旧西伯町)原	5.0	11.1
	南部町(旧会見町)天万	10.0	16.7
	伯耆町(旧岸本町)吉長	5.0	0
	大山町佐摩	10.0	15.8
	伯耆町(旧溝口町)二部	30.0	68.4
	伯耆町(旧溝口町)宇代	15.0	76.9
	日野町黒坂	10.0	0
	江府町洲河崎	0	0
	日南町矢戸	15.0	0
	日南町下石見	0	0
	米子市奈喜良	15.0	-
	米子市車尾	20.0	-
	南部町(旧西伯町)下鴨部	10.0	-
	大山町平	5.0	-
	大山町(旧名和町)旧奈和	10.0	-
	大山町(旧中山町)羽田井	0	-
	日南町下阿昆縁	30.0	-
	西部平均		11.3
県平均		9.9	15.5

注) H19は50地点、H18は30地点を調査

表2 県予察ほ場におけるフタオビコヤガ(イネアオムシ)の発生状況

ほ場No.	移植日	品種	食害株率(%)			寄生幼虫数(頭/株)				蛹数*
			H19	平年値	H18	若齢	中齢	老齢	合計*	
1	5月23日	コシヒカリ	38.0	6.8	68.0	0	0.1	0.4	0.5(0.9)	0(0.4)
2	5月28日	おまちかね	8.5	1.2	12.0	0	0.0	0.1	0.1(0.2)	0(0)

注) 調査日:平成19年6月20日

調査方法:1ほ場50株について食害の有無、幼虫数および蛹数を見取り調査した。

\*:( )は平成18年の数値